

令和元年度全国統一防火標語

「ひとつずつ
いいね!で確認
火の用心」

たかつき消防団だより

http://www.fd-takatsuki.jp/cgi-bin/119/rescue/display_topics_list.cgi?bunrui=syobodan

第 60 号

令和元年6月15日

発行

高槻市桃園町4番30号

高槻市消防団

電話 674-7980

「第24回全国女性消防団員 活性化滋賀大会」に参加して

団本部
団員 山中 淑子

平成30年11月9日滋賀県立体育館で、全国から約3500名の女性消防団員が参加し盛大に開催されました。

5団の活動事例の発表、4団の防火防災啓発劇、その他元プロボクシングのチャンピオン山中慎介氏による「継続は力なり」と題された記念講演も聴講してきました。

今回私達は人形劇「消防団の木」が選ばれ発表させて頂くこととなりました。

この劇は長谷川裕子さんの「火災や災害から子どもを守るアメリカの知恵」を参考にシナリオから考え、西村副団長にも色々手伝って頂きながら、皆で協力し合っ



南山高槻観音安岡寺訓練

清水分団 浦堂班
班長 山本 節也

昭和24年1月26日、法隆寺金堂から出火し、堂内の壁画の大半が焼損しました。その日を「文化財防火デー」とし、貴重な文化財を火災等から守るために毎年各地で防火訓練等が行われています。今年も高槻市では、安岡寺(高槻市浦堂本町)の防火訓練が行われました。地元浦堂班より4名、大蔵司班より2名が参加しました。

昨年までの放水訓練は、タンク車からポンプ車が水を受け、放水する訓練でしたが、今年も安岡寺の境内の参道下の池より吸水し、放水しました。消防職員の協力も受け、団員が無事放水を行うことができました。



平成31年高槻市消防出初式

芥川分団
団員 田中 義大

平成31年1月6日、高槻市消防出初式が挙行されました。

毎年行われる消防本部、消防団、自衛消防隊の総勢約700名が隊列を組み、一斉に行進をする分列行進があります。この時期は寒さもあり、待機時間は常に体を動かして、行進に備え体を温めています。

その後、私たち消防団員にとって重要であり、一般来場者の方には楽しみな消防団一斉放水が始まります。私たち芥川分団はほぼ毎年、放水担当に携わらせて

鶯殿のヨシ原焼き

五領分団 前島班
団員 田端 佳史

平成31年2月17日(日)「鶯殿のヨシ原保存会」と「上牧実行組合」によって、害虫を駆除することによる新芽の成長の促進や不慮の火災防止等を目的とした「鶯殿のヨシ原焼き」が実施されました。

午前7時30分に警備を担当する五領分団の消防団員50名が本部設営付近に集合しました。

着火前の待機中に、河川敷へ釣竿を担いで入っていく方を見かけたのでヨシ原焼きが実施されることを伝え下流へ行くことを促しました。



また、消火栓を使用しホースをポンプ車に連結する訓練では、資機材を用いて消火栓を開栓したのは随分久しぶりであったため、要領が思い出せず、苦戦しました。

平成30年度消防団方面隊連携訓練

大冠分団 東天川班
班長 河中 勢一

平成30年11月18日、唐崎公民館で普通救命講習が三箇牧分団・大冠分団の方面隊連携訓練として行われました。

AEDによる心肺蘇生法は初めての訓練でしたので少し緊張気味の中、講習の流れの説明があり、救命処置の手順のビデオを見て、AEDの説明を受けた



後、グループに分かれて、人形を使い実践へ向けた講習へと移ってまいりました。消防本部の方から丁寧な手順・動作、細かな注意点などの指導を受けながら救命処置の実践訓練を受けました。

重要な処置となる為、受講者からも色々質問もあり真剣に取り組みました。

この時は講習会場でしたが、実際の現場に遭遇した時、自身が周りへの指示、呼吸の確認、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの操作と訓練通りに冷静に処置が出来るのかと考えると、かなりの不安が残りました。その日以後は、AEDの設置場所を意識することが増えましたし、講習を何度も受け、身に付ける必要があると感じました。

平成30年度高槻市 全域大防災訓練

富田分団
班長 佐藤 崇

平成31年2月10日(日)10時に大阪府北部を震源とする直下型地震が発生したという想定で高槻市全域を対象とした防災訓練が実施されました。

富田分団は管内の避難指定場所である富田小学校、寿栄小学校、柳川小学校、玉川小学校に向かい現地スタッフの方と連携を取り、避難者数の把握と活動内容の把握をしました。避難場所によって避難者数の違いはありましたが、比較的年齢層の高い方が多いように思いました。現地向かう途中に若い夫婦の方が小さな子ども



もの手を取り避難される姿を見る事も出来ましたが、若い世代の方には地域で実施される防災訓練への関心はまだまだ少ないのかなと感じました。

高槻市消防団員の一人として、今後も訓練に励むとともに、若い世代の方にもアピールをして、高槻市の防災に繋がっていききたいと思っております。



